

1 管理運営に関する基本的事項

【横網町公園の管理に対する基本理念】

－関東大震災 100 年を迎える横網町公園－
「震災 戦災のメモリアルパークとしての社会的価値の向上」

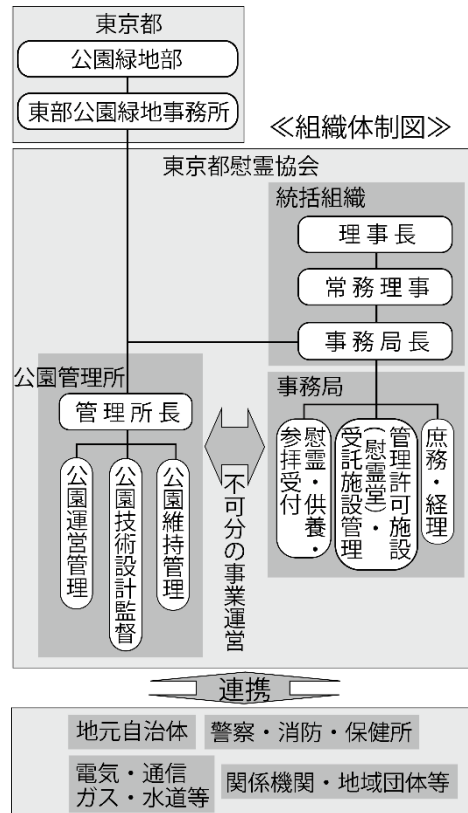
【歴史の重みと信頼関係の継続に基づく基本理念の実現ノウハウ】

- ・ 70 年に及ぶ慰霊大法要執行による東京都との信頼関係
- ・ 長年培ってきた各行政機関、団体との円滑な調整能力と遺族・参拝者との信頼関係
- ・ 横網町公園の歴史的経緯や所蔵資料等を熟知した知識と能力
- ・ 公益財団法人として公平・公正に「公の施設」を管理する職責を果たしてきた実績

2 人員配置計画等

【基本方針】

- ・ 管理所長が責任者となり、公園の管理運営を行うとともに、東京都との窓口として連絡調整機能を果たします。
- ・ 理事長をはじめとする東京都慰霊協会の統括組織が、公園管理所及び管理所長を適切にフォローします。
- ・ **東京都慰霊堂の事業運営を行う協会事務局が、庶務事務や経理事務をサポートします。**
- ・ 地元自治体や警察・消防・保健所、電気・通信・ガス・水道の供給事業者、地域団体等との緊密な連携を図ります。
- ・ 平常時は勿論のこと、夜間早朝・年末年始・災害発生時においても、東京都や地元自治体等との緊密な連携が図られるように連絡体制を確保するとともに、重大事故や災害時に速やかな対応が図られるようにマニュアルの整備や平常時から訓練を行い、緊急時の円滑な対応に備えます。
- ・ 新型コロナに対して特段の留意を図り「新しい日常」の定着に向けて、地元墨田区担当部署、所轄保健所等の指導に基づいて、発生前の準備、発生直後の対応、感染拡大時の対応のフェーズ毎に感染予防・拡大阻止のための対応を図ります。加えて消毒液等の備蓄や関係機関との体制構築や利用者への周知方法等、次の感染流行に備えます。



3 運営管理計画

【管理運営の方針と具体的取組】

東京都慰霊協会は、都民の自然災害への関心の高まり、東京 2020 大会の開催、新型コロナウイルス感染症対策に係る「新しい日常」等の社会状況の変化に対応して一人でも多くの都民が一度は訪れたいと思う公園、安全で安心して利用できる公園を育むために、基本理念のもと今後 5 年間、**次の 5 本の柱を運営管理の基本方針**とします。

5つの柱	具体的取組
(基本方針①) 過去を将来に繋ぐ横網町公園の意義と存在を高める	<ul style="list-style-type: none"> ○現在進めている関東大震災 100 年事業と連携して多様なイベント等を企画、実践することで、横網町公園の存在を知る機会の増加に努めます。 ○関東大震災の教訓を伝え、防災意識向上を目的に始めた首都防災ウィークは今年で 8 回を数え、参加団体の増加とプログラムの充実が図られていますが、さらにネット配信等の新たな取組により関東大震災 100 年を迎え、次の 100 年を目指します。
(基本方針②) 命を尊ぶ静謐な環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○横網町公園の骨格をなす日本庭園の景観改善に取組み、日本庭園内の主要な箇所を個別にリニューアルします。特に、池回りの眺望点からの景観に留意し、修景により四季の彩りを高めます。
(基本方針③) 震災・戦災の歴史を風化させない	<ul style="list-style-type: none"> ○修学旅行等で全国各地から横網町公園を訪れる生徒が増え、また地元墨田区では小・中学生の授業として横網町公園を訪れています。こうした日本の将来を担う若い方には、独自プログラムを提供していますが、アンケート調査等に基づき、レベルアップした解説に努めます。 ○戦災体験者の語り部さんの話しは好評ですが、100 年前の震災に関しては難しい状況となっています。そのため、かつての映像や既存出版物等を活用し、例えば手記を朗読するなど、語り部さんに代わる関東大震災の伝承方法を検討します。
(基本方針④) 震災・戦災に関する歴史資源の保存・復元・修復	<ul style="list-style-type: none"> ○2015 (平成 27) 年からは専任の調査研究員を置き、順次保存修復を進めており、関東大震災 100 年を目前に、東京都とも協議して保存修復とデータ化を加速し、現在行っている展示リニューアルを推進します。一方、データ化した資料は、HP でのアーカイブ化を促進します。また、屋外展示ギャラリーの活用促進に向け、パンフレット作成や展示方法の改善を行います。
(基本方針⑤) 公正で安全安心な公園づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者に対しては常に平等な機会を確保するとともに、横網町公園の特殊性から様々な関係団体や個人とは常に中立的な立場を堅持し、個人情報管理を徹底します。 ○また、この公園に愛着を持ち続ける地域の方たち、各種団体ボランティアと連携して、防災訓練、花壇の育成、季節の行事等のさらなる充実を図るとともに、人々の活動拠点として安心して活動できる公園づくりを行います。 ○新型コロナウイルス感染症対策は、感染リスクが高くなる「3密」状況を作らないように多様な方法で周知を行っていきます。また、東京都慰霊堂、復興記念館は、施設内における換気の徹底、順路の徹底、頻度が高い接触箇所の消毒・拭き等を行います。加えて消毒液等の備蓄や関係機関との体制構築等、次の感染流行に備えます。

(5つの基本方針と具体的取組)

【利用者要望の把握方法と管理業務への反映】

- ・ 要望等は、ご意見箱設置やヒアリング・アンケート等の多様な方法で把握しますが、基本的にはオープンな雰囲気のもとで、公平・公正に丁寧に関わりを行います。
- ・ 苦情要望は組織として受け止め、情報を共有し、問題のある案件については職員全体で検討し判断します。また、苦情要望の内容・対応処理経過等をデータベース化し、日常管理にフィードバックできる態勢があります。

【質の高いサービスを提供するための具体的な取組】

関東大震災 100 年を 3 年後に迎え、来年には東京 2020 大会が開催されます。また一方で、新型コロナウイルス感染症を乗り越えるための「新しい日常」が必要となります。そのため、横網町公園の特性を踏まえ、今後のサービスを 3 つの方向に定め、具体的な取組を行います。

3つの方向	具体的取組
情報発信	・ 復興記念館展示リニューアル
	・ 復興記念館 AV 環境の改善
	・ 復興記念館資料室のリニューアル
	・ 新しいガイド(建築見どころガイド、子ども向け怪獣ガイド)
	・ 外国人向けの展示キャプション設置
安全安心な公園づくり	・ 遊具広場の注意喚起
	・ 園内の受動喫煙防止対策の強化
魅力ある公園づくり	・ 公衆トイレ・手洗い・水飲み場の衛生管理の徹底
	・ 季節を感じる空間演出

【公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案】

関東大震災 100 年を迎えるに当たり、東京都の取組をサポートするとともに、改めてこれまで培ってきた経験と知識を最大限生かし、後世に末永く伝えていくため、東京都慰霊協会としても関東大震災 100 年事業と連携した取組を始めていきます。

連携事業	事業内容
関東大震災の資料収集	・ 当時の橋名板・建物定礎板といった大型の物や海外ボランティア活動に関する資料等の収集
所蔵資料の保存・修復	・ 資料の保存は、収蔵資料の優先度高い資料から電子データ化 ・ 資料の修復は、主に紙資料を対象とし、経年劣化の進んだもの、破れ、染みや虫害等の汚破損の修補
展示施設のリニューアル	・ 保存修復が終わった資料や新たに収集した資料については、2023 年を目途に展示リニューアルに活用
首都防災ウィークの継続	・ 関東大震災 90 年の節目の年にスタート、多くの共催団体と連携し、慰霊・防災・減災等の多彩なプログラムを展開

○「新しい日常」への取組

新型コロナウイルス感染の状況において、身近な公園の価値が再認識され多くの人が利用するようになりました。感染リスクを最小限に抑えて健康を維持するという「新しい日常」に向け、安全距離の必要性和身体活動を続ける必要性和とのバランスをとる公園利用の定着に向け取組ます。また、自主事業イベント等でも、感染リスクが高くなる「3密」状況を作らないように、講演会のライブネット配信や体験学習ツアーなどでのソーシャルディスタンス確保等に取組みます。加えて消毒液等の備蓄や関係機関との体制構

築や利用者への周知方法等、次の感染流行に備えます。

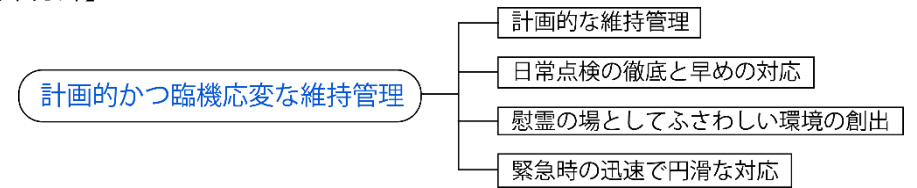
【オリンピック・パラリンピック後を見据えた公園の魅力向上の取組】

東京 2020 大会後においても、外国人に分かりやすい情報発信の強化を行い、海外からの来園者を迎えます。横網町公園の歴史的・地理的位置づけを考え、具体的に次の点を重視して「おもてなし」に取組ます。

「おもてなし」	「おもてなし」の内容
外国人に分かりやすい案内展示	・ 復興記念館の展示物への順次英文表記を行ってきましたが、さらに中国語、ハングル語等の多言語表記を進めます。
他の観光施設との地域連携	・ 横網町公園周辺は、江戸から明治・大正へと受け継がれてきた両国の歴史文化の流れを辿る観光ルートにおいて、東京都慰霊堂のある横網町公園も観光ルートの一翼を担う存在となっており、こうした地域の観光資源等と連携を深め、外国人観光客の誘導に努めます
和の空間演出による日本文化の発信	・ 東京都慰霊堂や日本庭園を中心とした横網町公園は、外国人にとって、特に日本的色彩の強い空間に感じられると思います。慰霊の場として静謐な空間において、引き続き、和を感じる四季の行事や植物を提供し演出することで、日本文化を体験して頂きます。

4 施設維持管理計画

【基本方針】



計画的な維持管理	・ 施設の利用頻度、補修等の維持管理記録により作成した「年間維持管理計画」に基づき、様々な機能が最大限発揮できるよう月毎の「作業計画」により、管理所職員全てが効率よく取組む態勢を確立します。 ・ また、定期的に部品交換・点検等の必要な施設・設備・機器類のリストを作成し、計画的な点検・交換を行います。
日常点検の徹底と早めの対応	・ 利用者の安全と快適性を確保するため、職員による毎日の巡回点検を行い、問題点の早期発見と迅速な対応処理に努めます。
慰霊の場としてふさわしい環境の創出	・ 利用者が静謐で落ち着いた環境で参拝ができるように配慮し、常に格式ある雰囲気維持に努め、公園内外の巡回清掃は毎日実施するとともに、植物の剪定・刈込み及び除草等は常に整然とした状態を確保します。
緊急時の迅速で円滑な対応	・ 突発的な事故や気象災害等による施設の補修や植物管理については、管理所職員が夜間も含め即刻対応するほか、特約を結んだ専門業者と連携し、24 時間 365 日緊急対応する態勢を整えています。また、警報発令時には職員の宿直体制をとります。